

BUSINESS

リーダーになる!

実践する上司学。
よきリーダーに、よき上司になるために。



嶋津良智 リーダーズアカデミー学長。早稲田大学講師。大学卒業後、IT系ベンチャー企業に入社、トップセールスマンとなり、24歳で最年少営業部長に就任。1993年に独立、起業。94年に共同で情報通信機器販売の新会社を設立。2004年にIPOを果たす。05年に教育機関、「リーダーズアカデミー」を設立。

第2回

時間の使い方

シンガポールと日本を行き来するライフスタイルで、常に時間の使い方に気を配っています。皆さんは本当に大切なことに時間を使えていますか？

仕事の都合上、毎月1週間程度日本へ行きますが、シンガポールに戻り、ハイウエーから立ち並んでいる緑の木々を眺めると、なぜかいつもホッとします。

しかし、それもつかの間、寝て起きれば、また仕事とのダンスが始まります。こんなワークスタイルのわたしにとって、時間の使い方は本当に大切なスキルです。

人種・宗教・国などに関係なく、この世の中の万人

に与えられているものが、たった二つだけあるといわれています。それは、「24時間」一日という「時間」と「命」です。オバマ大統領だからといって、36時間＝1日だと与えられているわけではありませぬ。それゆえ、今の社会に存在する一番シンプルな成功哲学は、『時間』と『命』を大切にすることだともいわれています。

この貴重な「時間」という資産を大切に生きていく上で、最近つくづく感じる

ことがあります。それは、「何かをしているときは何かをしていないとき。これは、時間管理の神髄を突いた言葉だと思っています。」

「寝るときは仕事してないとき」、「テレビを見ているときは、本を読んでいないとき」、「友達とお酒を飲んでいるときは、家族と過ごしていないとき」など。人は、こうやって知らないうちにいろいろなことに対して時間を使っています。ただし、よくいわれることが、たくさんある。どうでもいいことに、限りある大切な時間を使っていることがあまりにも多いという現実です。つまり、何かをしないことを増やさないと、本当に

大切なことをする時間を増やせないということ

です。 わたしだけでなく、多くの著名人が話したり、著書でも語っているように「いかに今していることをやめる勇気を持つか」、「それによって本当に大切なことに使う時間を増やせませぬ。これは、仕事で成果を上げ、良き人生を送っている

リーダーになるツール 役立つ書籍や道具などを紹介



『あたりまえだけどなかなかできない 上司のルール』

優秀な部下をより多く育成するのが上司の使命。分かっているけれども、なぜそれが部下に伝わらないのか。部下と良好な関係を保ち、絶えず成長と気づきを与える上司になるためのルールを紹介している。(アスカピビジネス/1365円)

人の共通点でもあります。 「今している仕事はあなたが成果を上げるのに、本当に大切なことですか？」 「今読んでいる本は、あなたの人生を豊かにするために、本当に必要な本ですか？」 「今している遊びは、あなたの幸せのために本当に必要なことですか？」

周囲に流されず、本当に大切にすべき家族との幸せの時間や、仕事で成果を上げるための自己啓発にたくさんさんの時間を使っていますか？ ぜひ、一度振り返ってみてください。1日24時間という時間は有限です。しかし、その使い方は無限です。(記事協力・Asia X)